

# 月 報 (2013 年 6 月)

提出日 2013 年 7 月 4 日  
国際戦略推進本部 下田 誠

今月の業務テーマ	
(1) 東京学芸大学の国際化を推進する組織づくりを行う。	具体的な行動目標 新国際戦略推進本部の下部組織について検討する。
(2) 東アジア教員養成国際コンソーシアム事業の第2フェーズと国際共同研究を推進する。	具体的な行動目標 第8回東アジア教員養成国際シンポジウムに向けて国際共同研究を推進する。
実施内容	
<p>(1) について 【国際戦略推進本部の活動】 新国際戦略推進本部の下部組織と国際化推進に際し直面する課題について関係者と協議を重ねた。</p> <p>(2) について 【東アジア教員養成国際コンソーシアム事業実施部会の活動】 「東アジア教員養成国際コンソーシアム学生相互交流プログラム」(JASSO)と「東日本大震災被災地の教育支援ボランティア」(文部科学省スポーツ青少年局助成課題)について、それぞれ準備を進めた。</p>	
成果	
<p>(1) について 国際戦略推進本部の月例会議において、モンゴル国立教育大学との学術交流の更新が承認された。 上記の月例会議において、協定校の在り方やコーディネーターの役割、学内教員の国際交流実績を集約する方法などについて検討する組織として、国際戦略WGの設置が承認された。</p> <p>(2) について 第8回東アジア教員養成国際シンポジウムにおいて本学から発表をおこなう方は以下の通りである。 基調講演：三石初雄教授 国際共同研究報告：岩田康之教授 分科会：筒石賢昭教授 大学院生セッション：砂田緑、元笑予、郡司菜津美(以上、博士後期課程) 藤井健志理事・副学長と下田准教授、小西晴奈主任は6月13日に北京師範大学、14日に華東師範大学と上海師範大学を表敬訪問し、3大学の国際担当副学長との関係を強化するとともに、JASSO奨学金プログラムとスポーツ青少年局助成課題への参加を呼びかけた。 「東日本大震災被災地の教育支援ボランティア」は好評により、東京学芸大学・大阪教育大学ともに6月27日の締め切りまでに定員(第1回・第2回合計40名)を超える応募があった。 下田准教授と近藤薫係長は「東日本大震災被災地の教育支援ボランティア」の視察と打ち合わせのため、栗原市の国立花山青少年自然の家と石巻市教育委員会を訪問した。 国際大学院プログラムについて、連合学校の四大学(埼玉大学・千葉大学・横浜国立大学・東京学芸大学)と連合の運営委員会の議論をふまえ、対応していくこととした。</p>	
7月の予定	
JASSO奨学金プログラムの申し込み締め切り／第1回国際戦略WGの開催／東アジア教員養成国際コンソーシアム事業の今後について議論する	